

4月の子育て学習会は、「親子で絵本を楽しむ会」と合同で開催し、保育所や幼稚園でご活躍されている豊田啓子先生をお迎えしました。

「うきうきわくわくごあいさつ」をテーマに、親子で楽しめる絵本や紙芝居、大人向けの絵本の読み聞かせや手遊びなどをして頂き、親子でゆったりと絵本の世界を楽しむことができました。

読み聞かせの絵本を一部紹介します。

ノントンの赤ちゃん絵本

毎日の生活の中で出てくる場面に合わせて、ノントンが「おはよう」「いただきます」といろいろなご挨拶をする絵本です。お母さん方は、豊田先生と一緒に「おはよう」「いただきます」と大きな声を出しておられました。お子さんにことばを教えているようにも見えましたよ。



おねぼうさんだーれ

色々な動物が出てくる絵本です。

豊田先生の「この動物知っていますか？」という問いかけに、親子で「くまさん」「うさぎさん」などと答える場面もあり、親子と一緒に読み聞かせに参加し、楽しんでおられました。



大型絵本の「いっしょにあそぼう!」「れいぞうこ」や紙芝居の「にこにこおへんじ」も読み聞かせをして頂きました。

また、大人向けの絵本として「じごくのそうべえ」も読まれました。

かなり長編の絵本でしたが、豊田先生の声色の魅力に引き込まれ、お母さん方はもちろんですが、幼いお子さんもじっくり聞いていました。



親子でふれあえる手あそび、「ピヨピヨひよこ」「むすんでひらいて」もして頂きました。

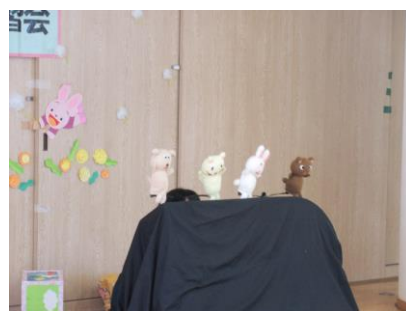
豊田先生の素敵な歌声に合わせ、指を動かしたりからだをぐーんと伸ばしたり、お子さんと手を合わせたり頭をなでたりなど親子でのふれあいを楽しんでおられました。



「花まつり」の曲に合わせて、おたのしみ手袋人形ダンスもありました。

自由自在に動く手袋人形は、見ているだけでも楽しくなりましたよ。

自然にからだを左右に動かす姿も見られ、会場いっぱい楽しさが広がっていました。



絵本選びのポイント

初めにお母さんやお父さんなど、読む方が「楽しい」「おもしろい」「いいな」と思う絵本を選ぶとよい(読み手が楽しめる絵本を読む)。

楽しんで読んでいると、楽しいという気持ちが無自然にお子さんに伝わる。

繰り返し読むことで絵本が好きなお子さんになる。

絵本が楽しめるようになったら、年齢に合った絵本を選ぶとよい。

からだを感じ、心が感じそしてお子さんは育っていく。